

3 マイコプラズマ肺炎 熱の後の長引く頑固なせき

1 病原体名

マイコプラズマ・ニューモニエ（細菌）

2 年齢層

幼児から青年期を
主に全年齢で感染します

3 潜伏期間

2～3週間

4 症状とケア

- ☑ 発熱、全身けん怠感、頭痛で始まり、3～5日後にたんのないせきが出ます。熱が下がってもせきは3～4週間も長引きます。
- ☑ 肺炎が重症化したり、無菌性髄膜炎、脳炎、中耳炎などの合併症が起こることもあります。
- ☑ 症状が落ち着いたら医師の診断により、出勤や登校ができます。



5 診断と治療

- ① 症状や迅速抗原検査じんそくこうげんなどで診断します。
- ② マクロライド系などの抗生物質で治療します。薬は医師の指示通りに飲み切りましょう。

6 家庭に持ち込まないために

- ① 感染経路は、飛まつ感染と接触感染です。
- ② ワクチンなどの特別な予防法はありません。
- ③ 日頃の石けんによる手洗いやアルコール手指消毒、せきエチケットや換気が大切です。

7 家庭で拡げないために

- ① 感染者と家族は、どちらもマスクを着けましょう。
- ② 可能であれば、感染者と他の家族は部屋を分け、接触の機会を減らしましょう。また、感染者の部屋はこまめに換気しましょう。